

出雲東部の大型古墳が語るもの

松江市埋蔵文化財調査課 永野智朗

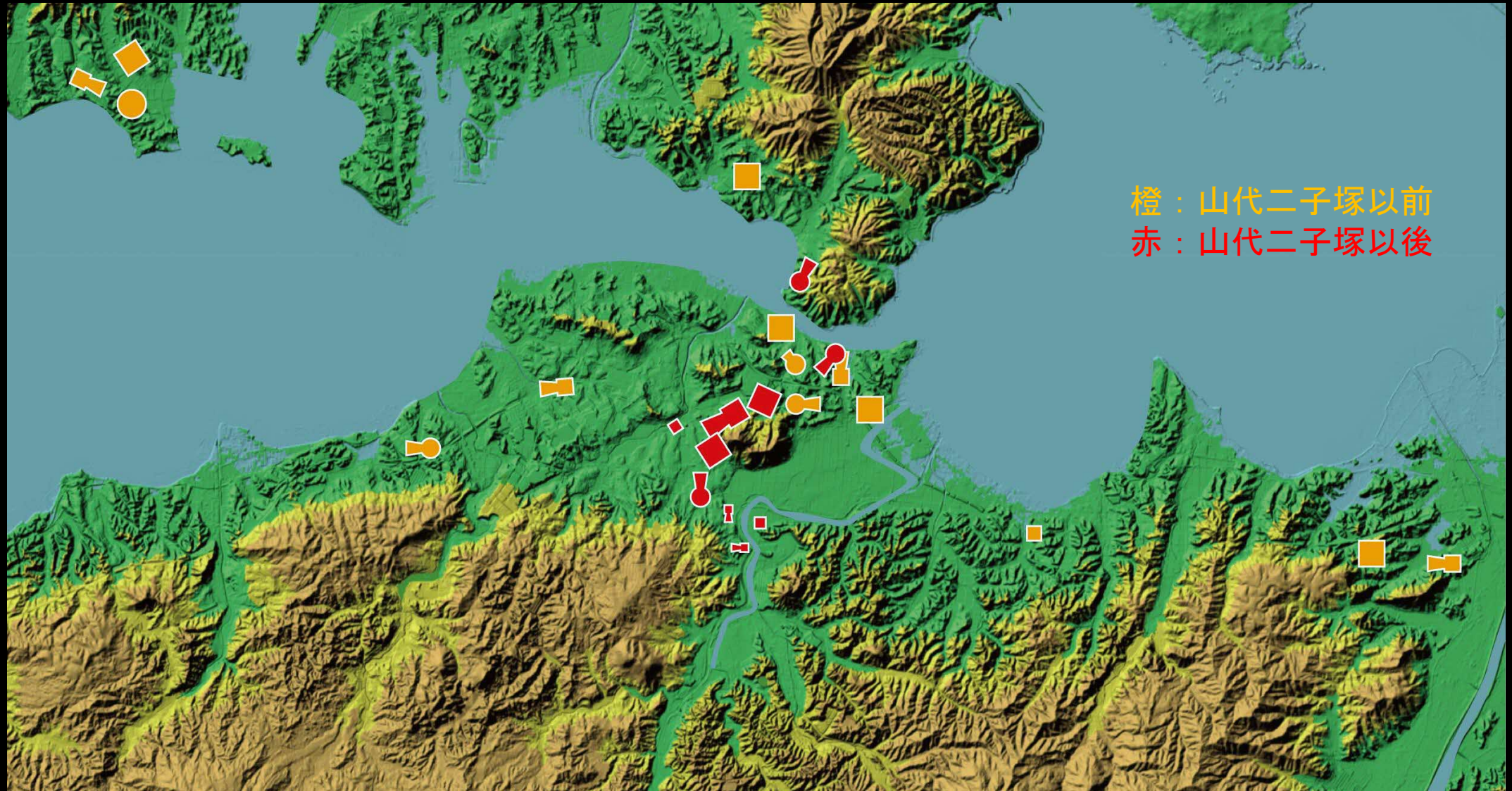
今日の内容

はじめに

1. 山代二子塚以前
2. 山代二子塚の時代
3. 出雲東部社会の諸相

おわりに

はじめに



1. 山代二子塚以前

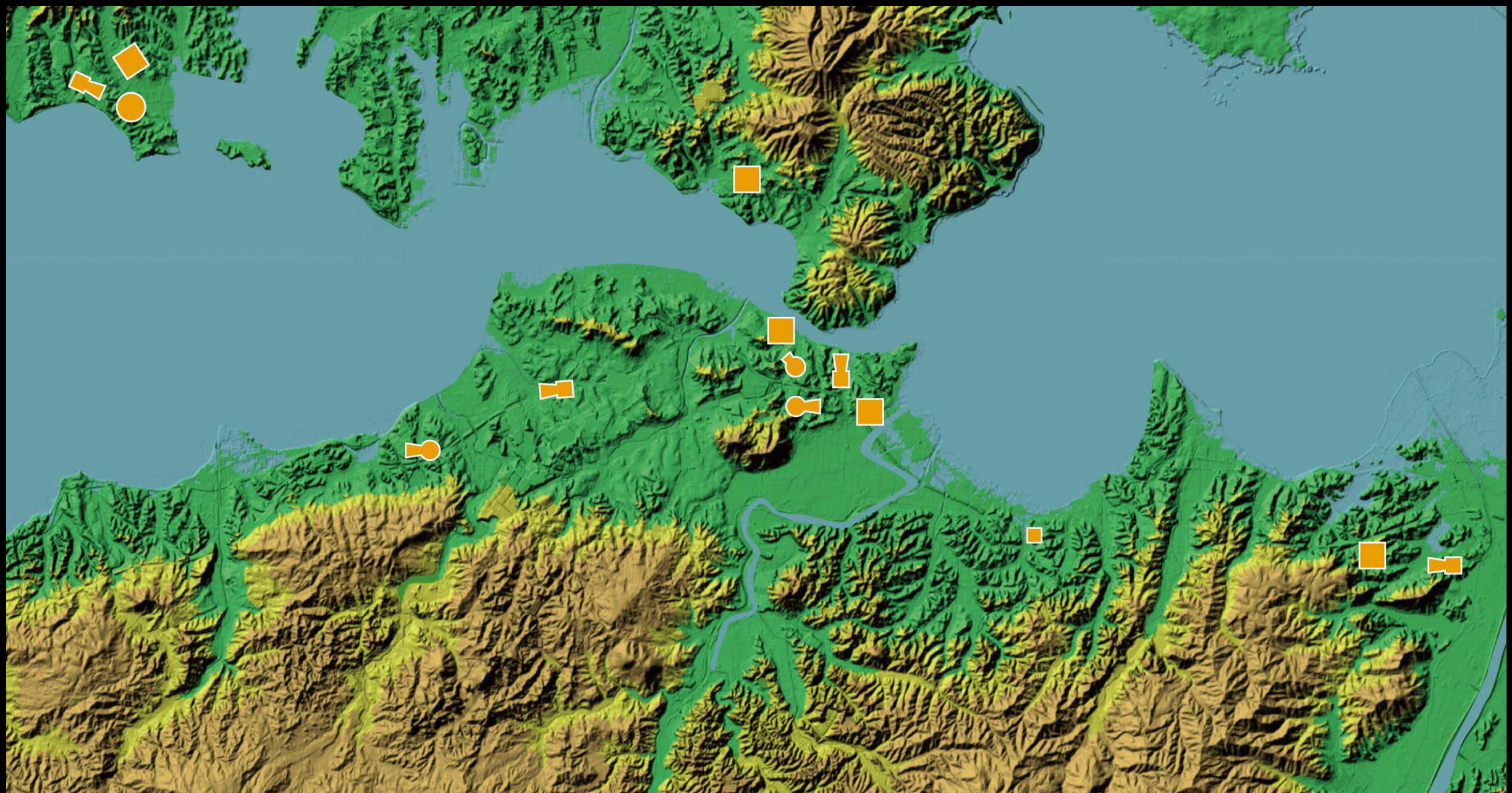
出雲東部では、山代二子塚の出現以前にも大型古墳が存在します。山代二子塚の時代になる以前には、どのような大型古墳が存在し、どのような社会を構成していたのでしょうか。



※古墳の調査風景



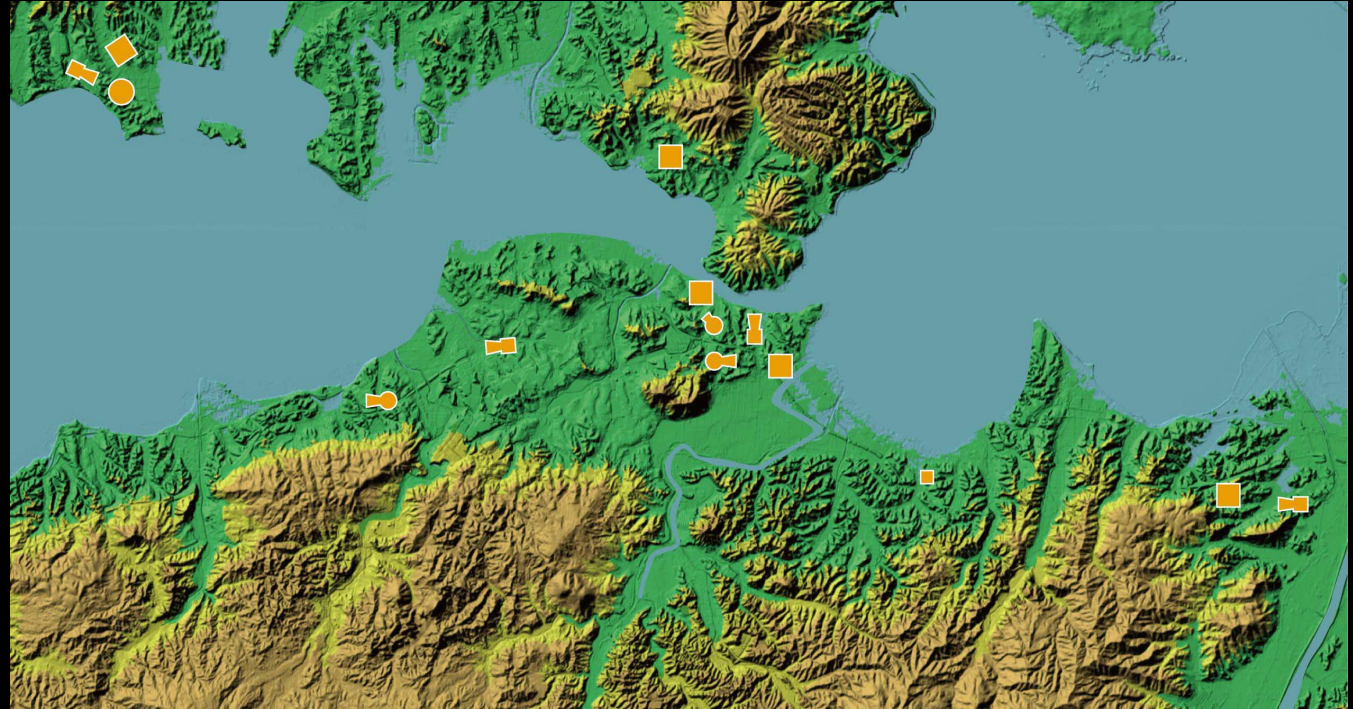
※大庭鶏塚古墳



※地理院地図デジタル標高図を使用

1. 山代二子塚以前

- 山代二子塚以前の様相①
 - 意宇平野周辺
 - 宍道湖北岸
 - 宍道湖南岸
 - 安来平野



中心は意宇平野だが、各地で展開

1. 山代二子塚以前

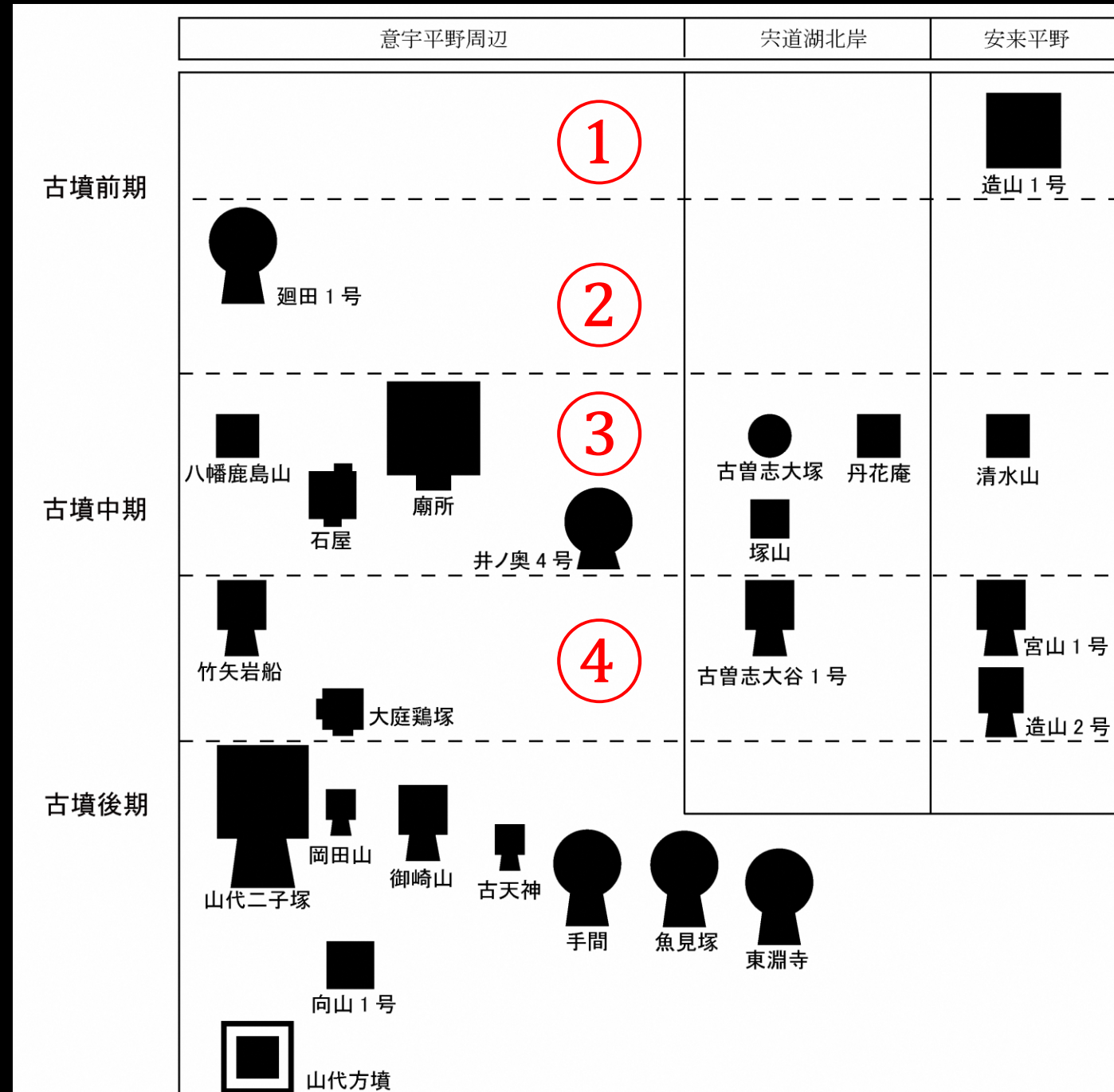
• 山代二子塚以前の様相②

①意宇平野の「空白」

②前方後円墳の登場

③大型方墳の時代

④「前方後方墳体制」



1. 山代二子塚以前

• 山代二子塚以前の様相③

➤ 大型方墳の意義

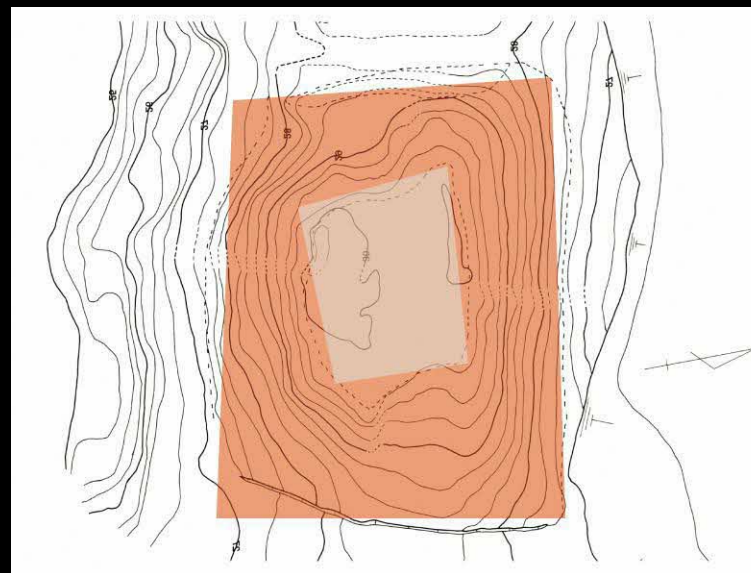
- 「畿内的」な墳墓要素
- 倭王権との直接的な関係
- 王陵からのインパクト

➤ 方墳へのこだわり

- 地域の自律性・主体性

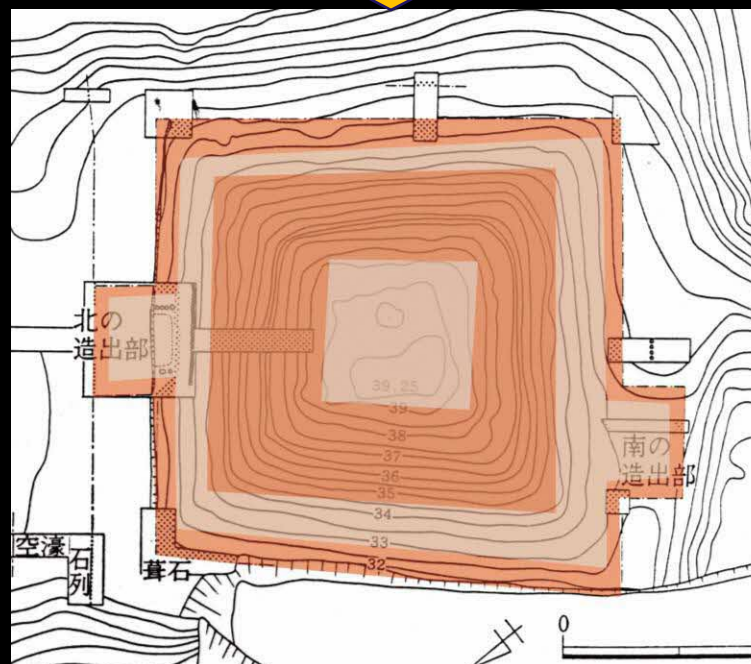
上：島根県教委2000『社日古墳』を一部改変

下：松江歴史館2022『古代出雲の中心地・松江』を転載



- ・ 長方形志向
- ・ 段築なし
- ・ 造出なし
- ・ 埴輪・葺石なし
- 伝統的・在地的

社日古墳（古墳前期）



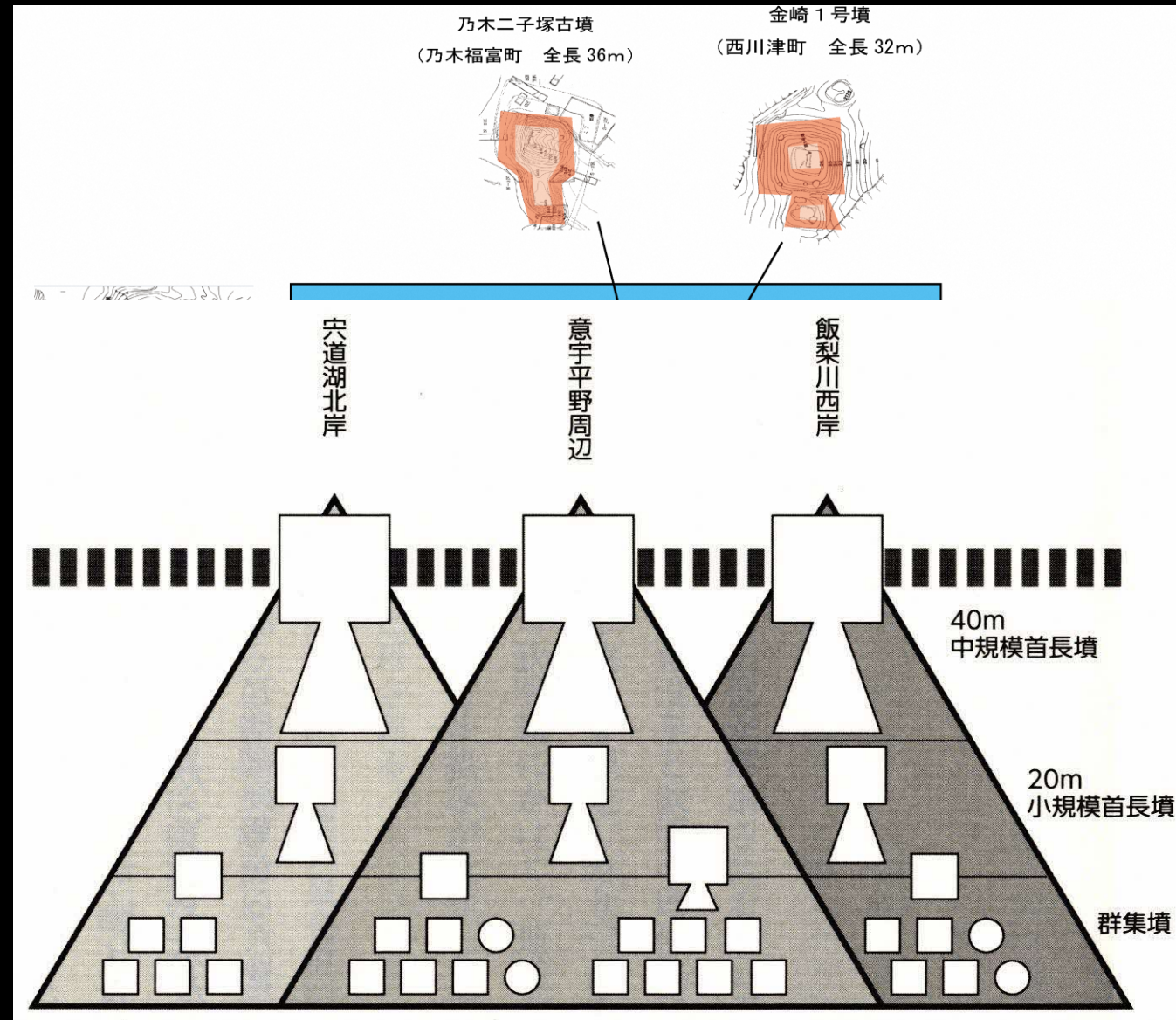
- ・ 正方形志向
- ・ 2段築成
- ・ 造出あり
- ・ 埴輪・葺石あり
- 外来的・畿内的

石屋古墳（古墳中期）

1. 山代二子塚以前

• 山代二子塚以前の様相④

- 前方後方墳体制の整備
 - 同時期、同規模、広域的
 - 通常型と短小型
- 地域色の顕在化
- 「出雲東部」のまとめり



松江歴史館2022『古代出雲の中心地・松江』を転載

1. 山代二子塚以前

- 山代二子塚以前の様相⑥

- 小まとめ

- ①空白→前方後円墳→大型方墳→前方後方墳

- ②倭王権からのインパクトと地方の自律性・主体性

- ③意宇平野周辺を基盤とする集団による地域秩序の醸成
※ただし、広域的な首長権は存在せず？

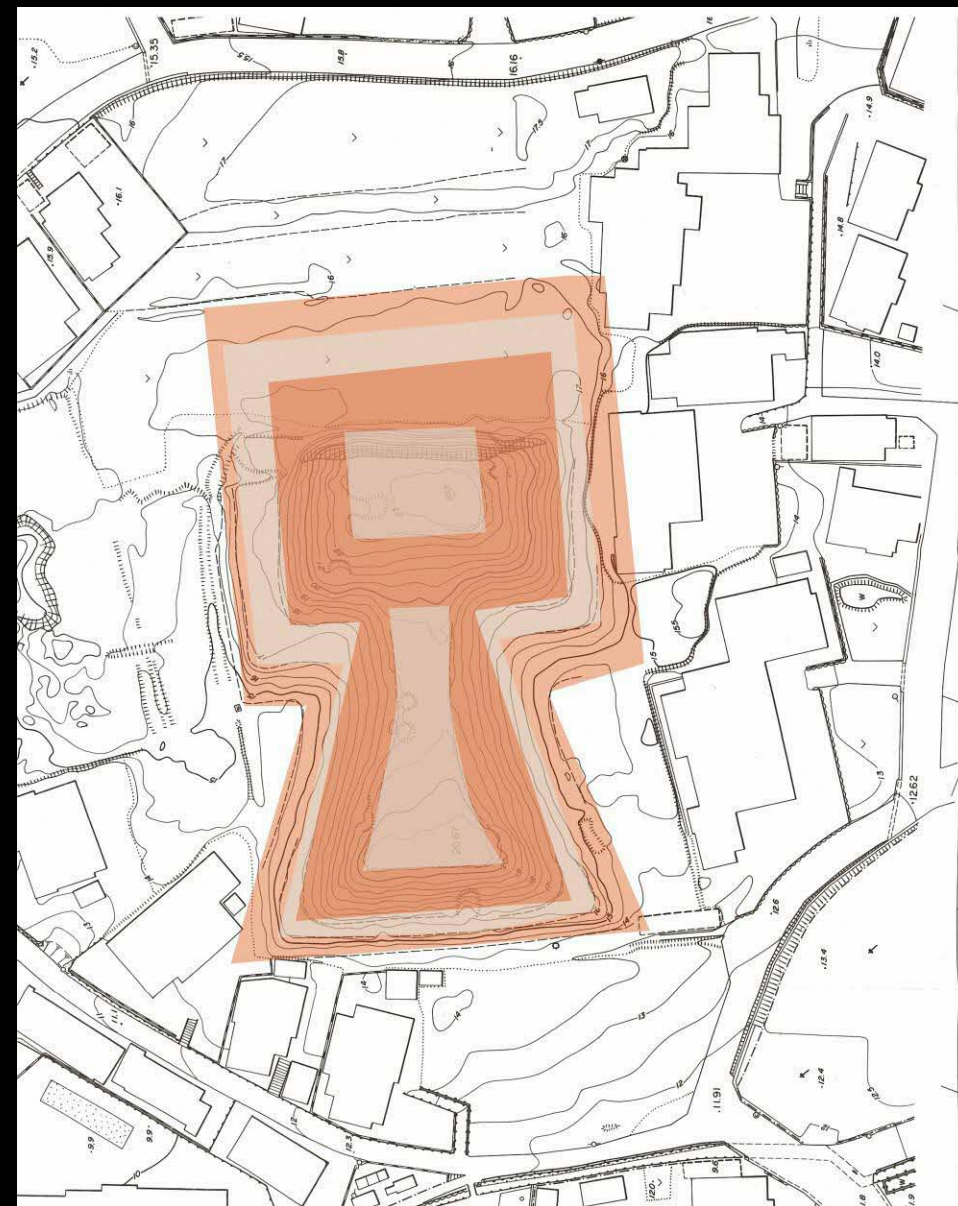
2. 山代二子塚の時代

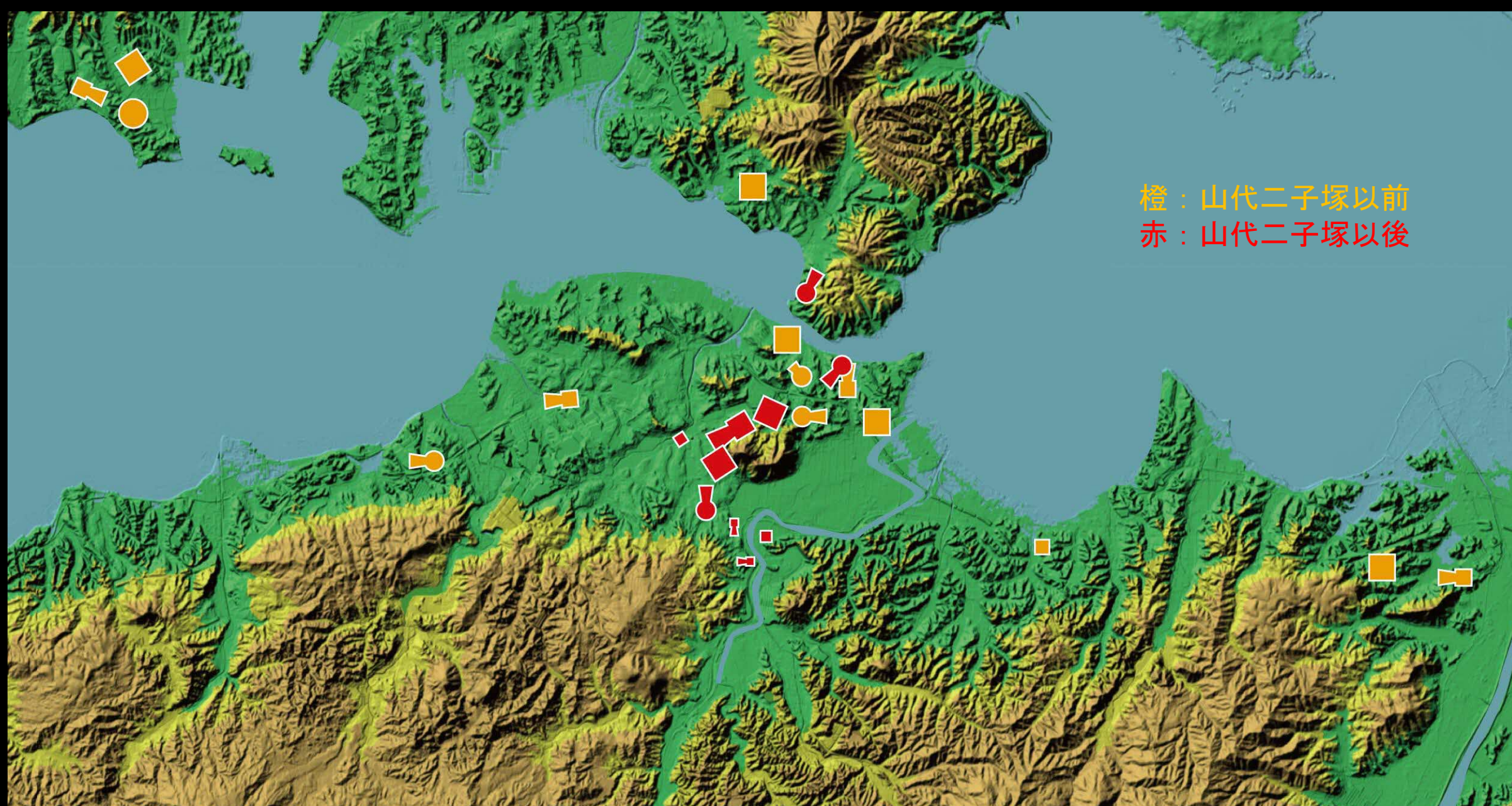


※茶臼山とその周辺

2. 山代二子塚の時代

- 山代二子塚の出現とともに起きたこと
 - 地域秩序の整備・発展
 - 有力墓の集中化
 - 新たな階層構造
 - 規格的な墓域配置
 - 新しい葬送祭式の創出
 - 子持壺、石棺式石室





※地理院地図デジタル標高図を使用

2. 山代二子塚の時代

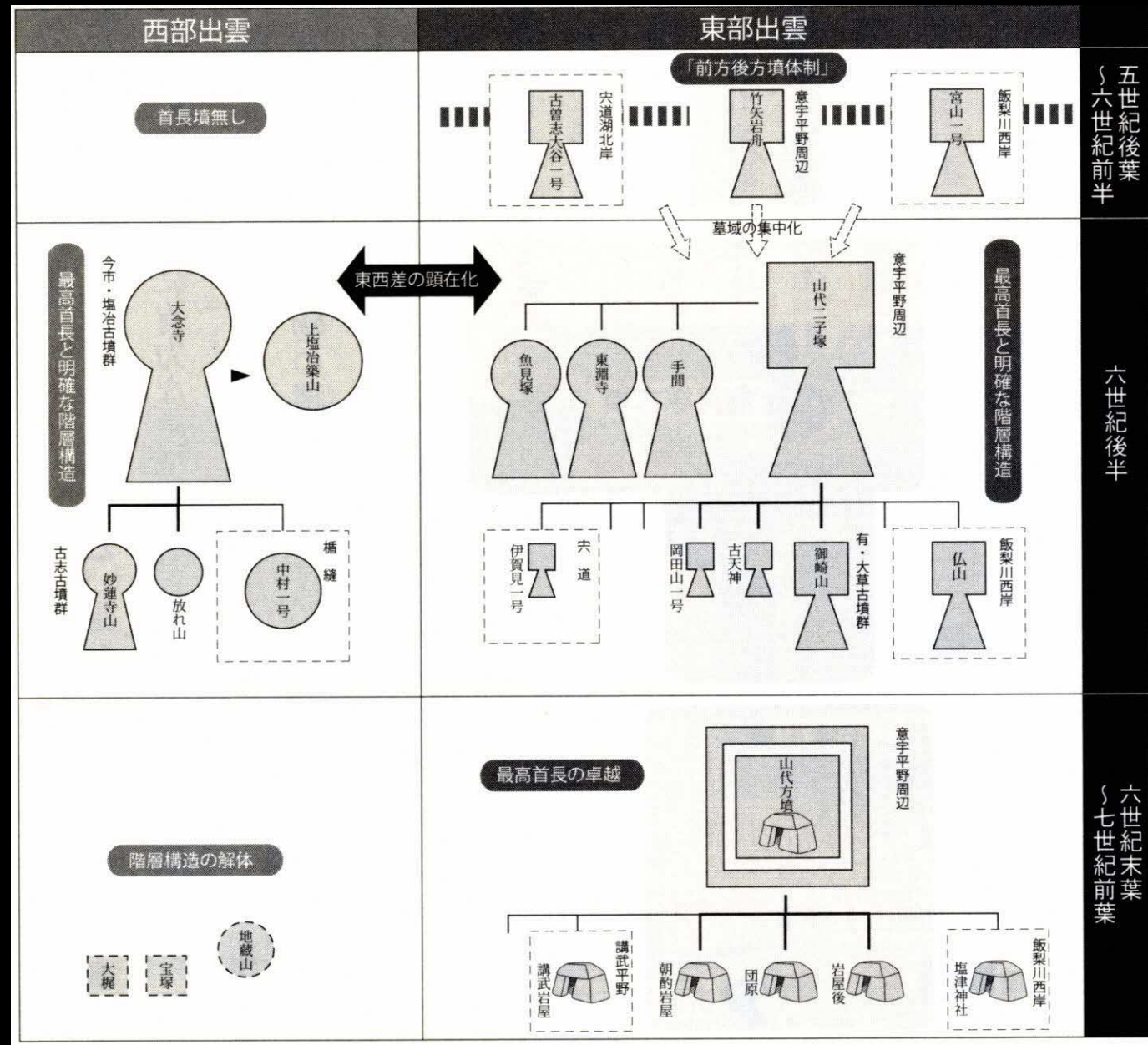
・ 階層構造の変化

➤ 墳丘規模による序列化

➤ 墳形の統一化

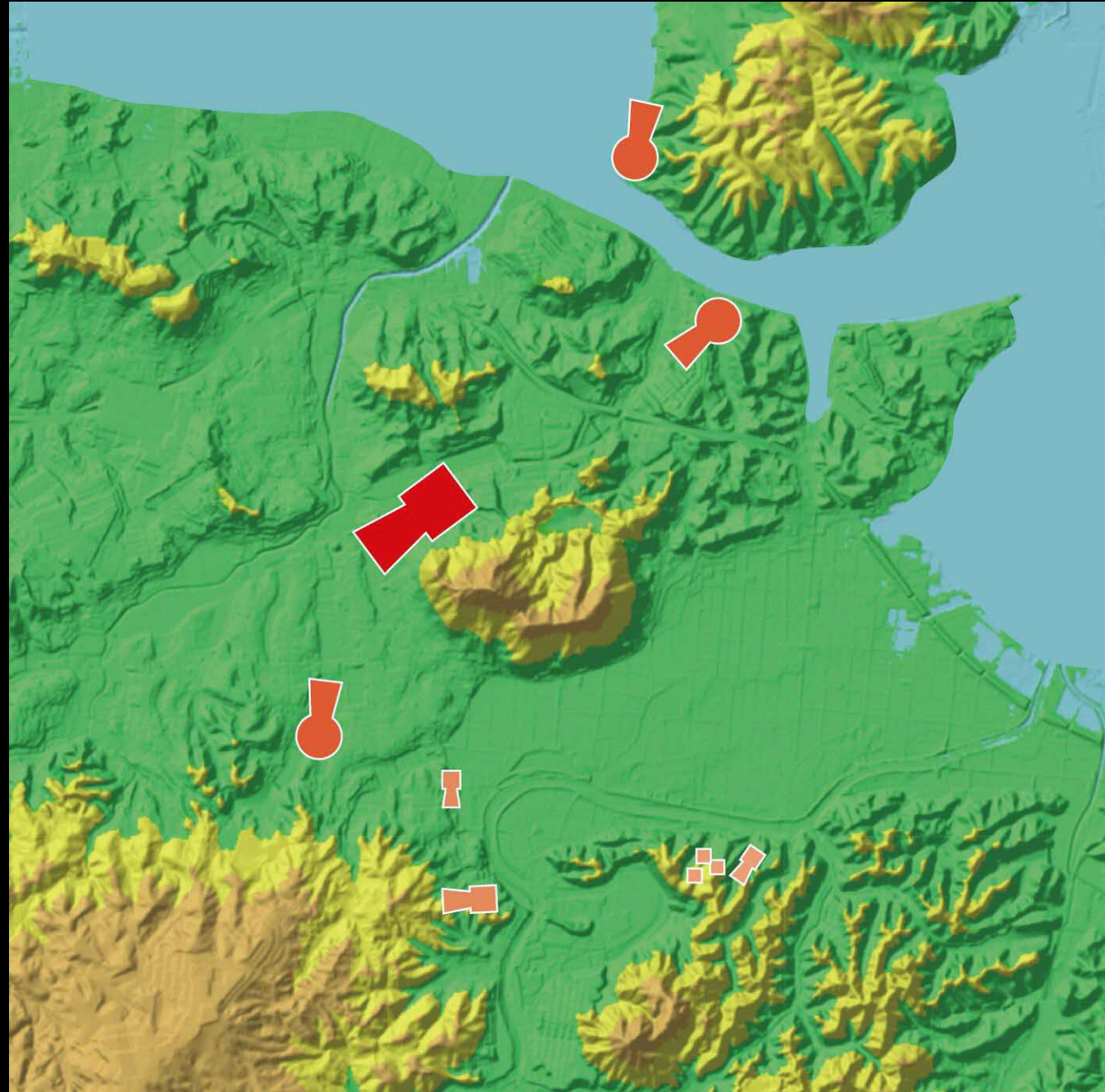
- 例外もあり
- 3基の前方後円墳

→ 出雲東部内における各地域の首長？



2. 山代二子塚の時代

- 規格的な墓域配置
 - 最高首長
 - No.2クラス
 - 中規模クラス
 - 村落首長クラス

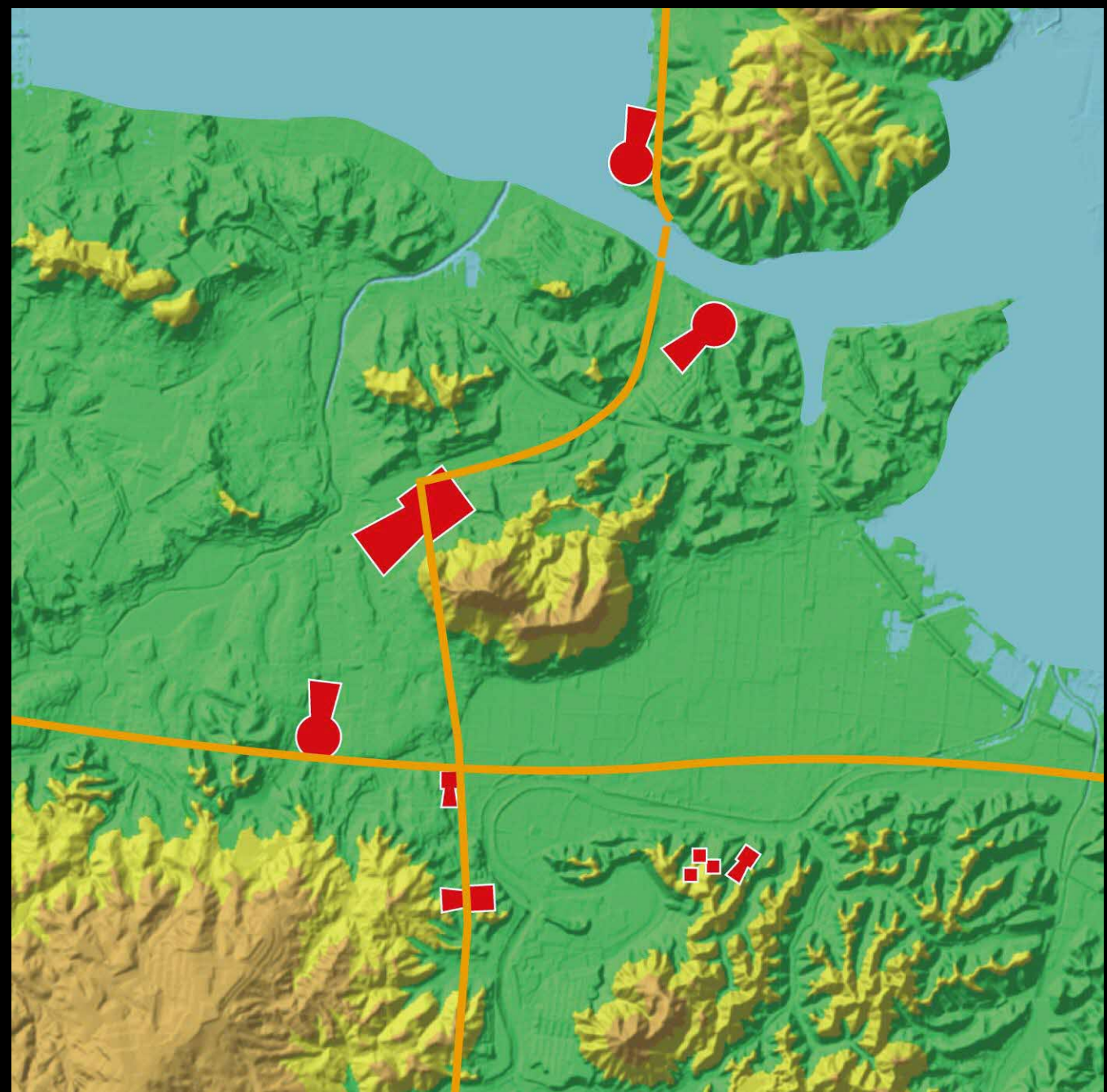


2. 山代二子塚の時代

- 集中化と規格的配置の背景
 - 交通路との関係



魚見塚遺跡で検出された道路遺構



2. 山代二子塚の時代

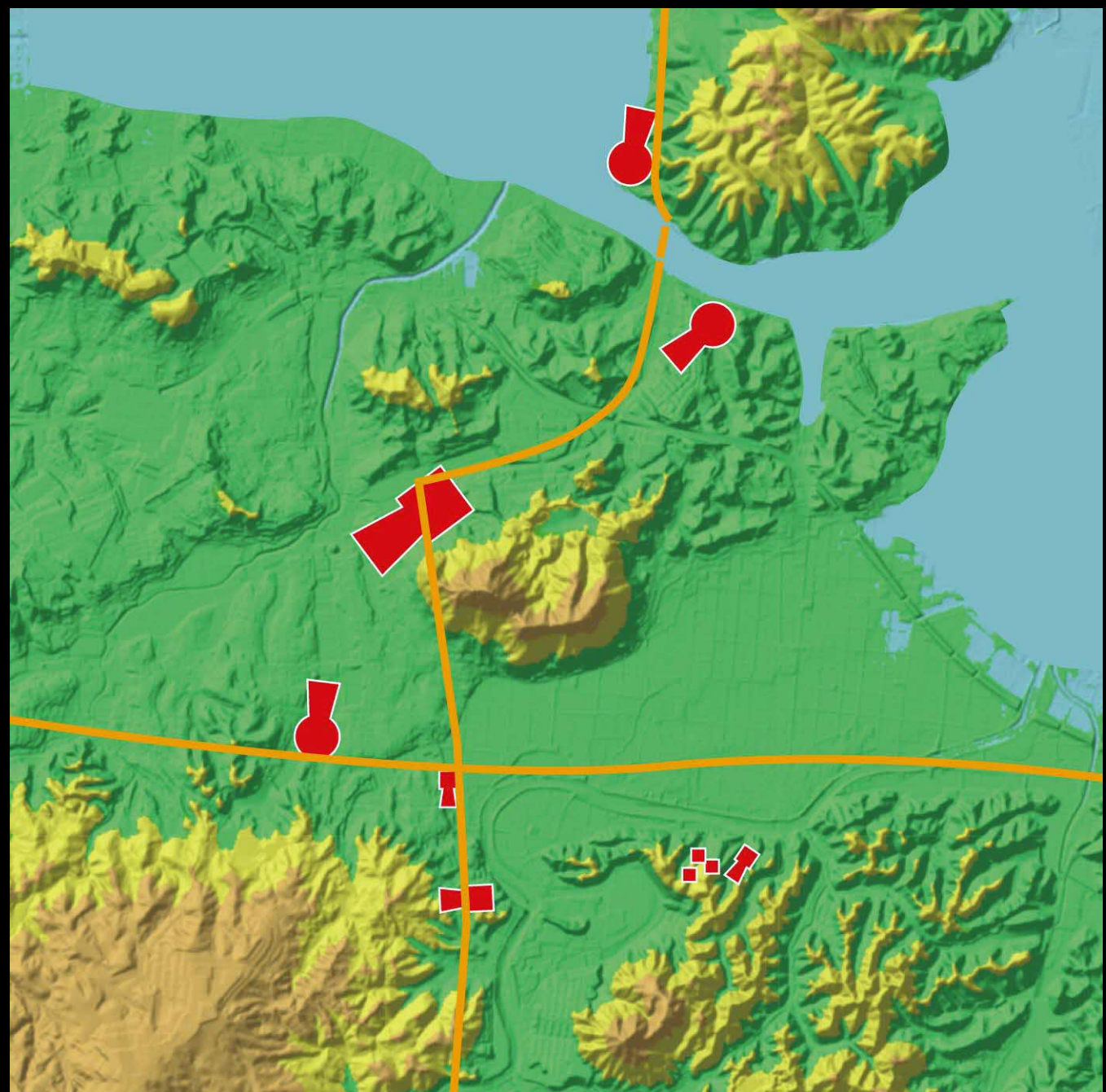
- 集中化と規格的配置の背景

- 他地域との交通の独占

→その背景として...

倭王権による交通関係の再編

- ミヤケの大量設置
- 地域間交通の多様化

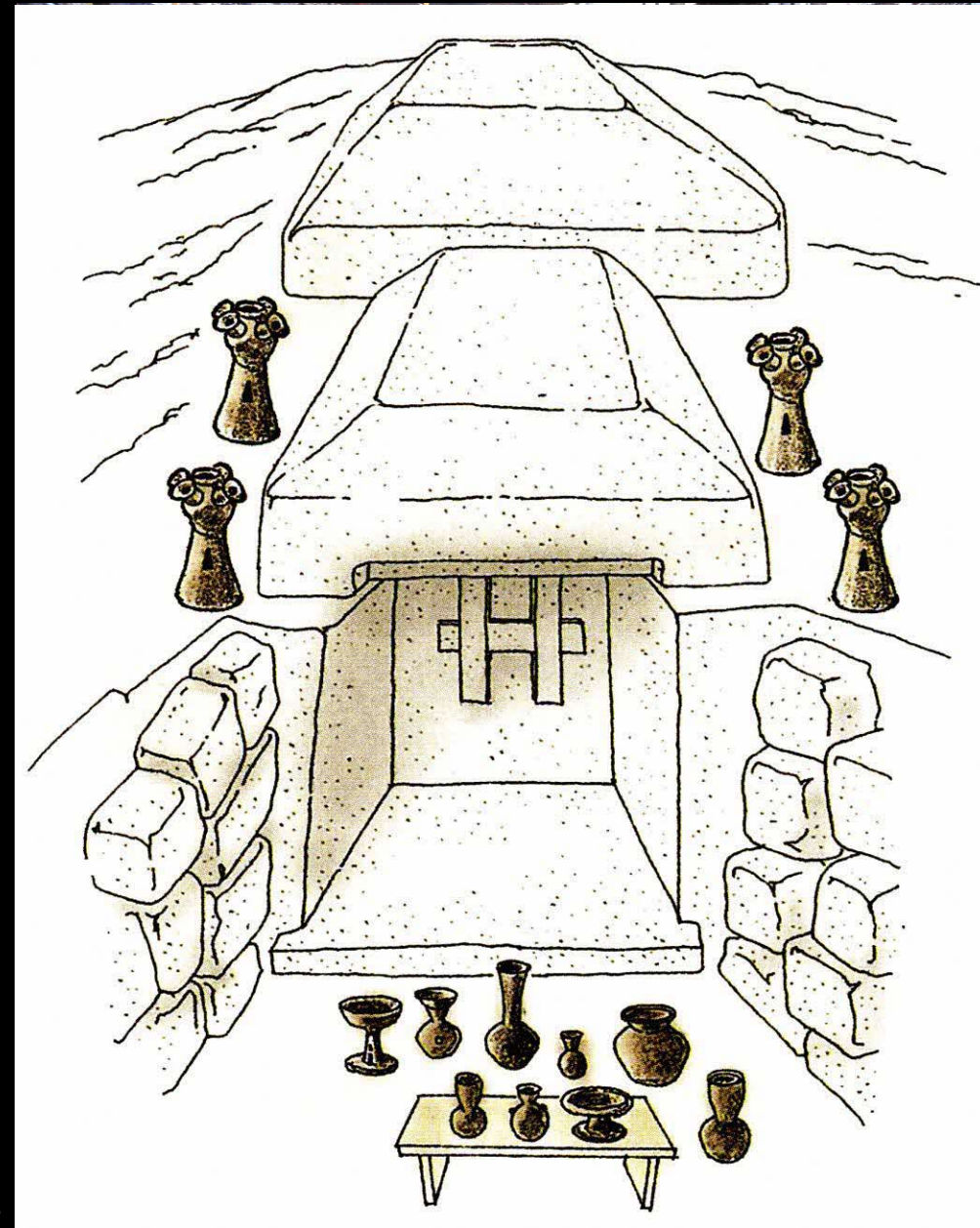


2. 山代二子塚の時代

- 地域型石室の展開
 - 出雲型石棺式石室の創出
 - ルーツは九州だが、独自に創出
 - 内外面において家形を指向
 - 「見せる石室」としての独自性

地域特有の葬送観念を表示する
モニュメント

向山1号墳の石棺式石室



2. 山代二子塚の時代

- 地域型石室の展開
 - 石棺式石室の階層的採用
 - 山代二子塚の次段階に顕在化
 - 最高首長を頂点とする階層的な採用

出雲東部としての地域的まとまりの完成形態を示す

2. 山代二子塚の時代

- 出雲型子持壺の展開

- 形状・使用方法是出雲地域独自のもの
- 山代二子塚がひとつの画期
- 6世紀末には出雲西部にまで波及

地域のシンボルとして定型化・序列化

子持壺とは、脚をもつ親壺の肩部分に多数の子壺をくっつけた特殊な須恵器のこと。

右の写真は向山1号墳出土の子持壺。



2. 山代二子塚の時代

- 広域的な地域秩序の整備・発展

- 前方後方墳

- 石棺式石室

- 子持壺

→墳形・墳丘規模・葬送儀礼による階層構造、地域的まとまりの形成

→大首長を中心とした地域統合の進展

これらはいずれも山代二子塚の出現を画期として出現
つづく山代方墳の時期には完成をみたか

3. 出雲東部社会の諸相



※朝酌町から茶臼山周辺を望む

3. 出雲東部社会の諸相

- お墓以外の要素から出雲東部の社会を少しだけ覗いてみよう
 - 須恵器生産
 - 玉作り
 - 炊飯具の分布
 - 祭祀道具の分布



3. 出雲東部社会の諸相

- 須恵器生産の集約化
 - 大井窯への集約化
 - 「海岸型」への転換
 - 特殊な祭具の製作



左：山津窯跡遠景
右上：子持壺と皮袋形須恵器

3. 出雲東部社会の諸相

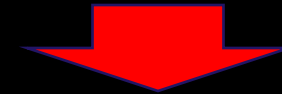
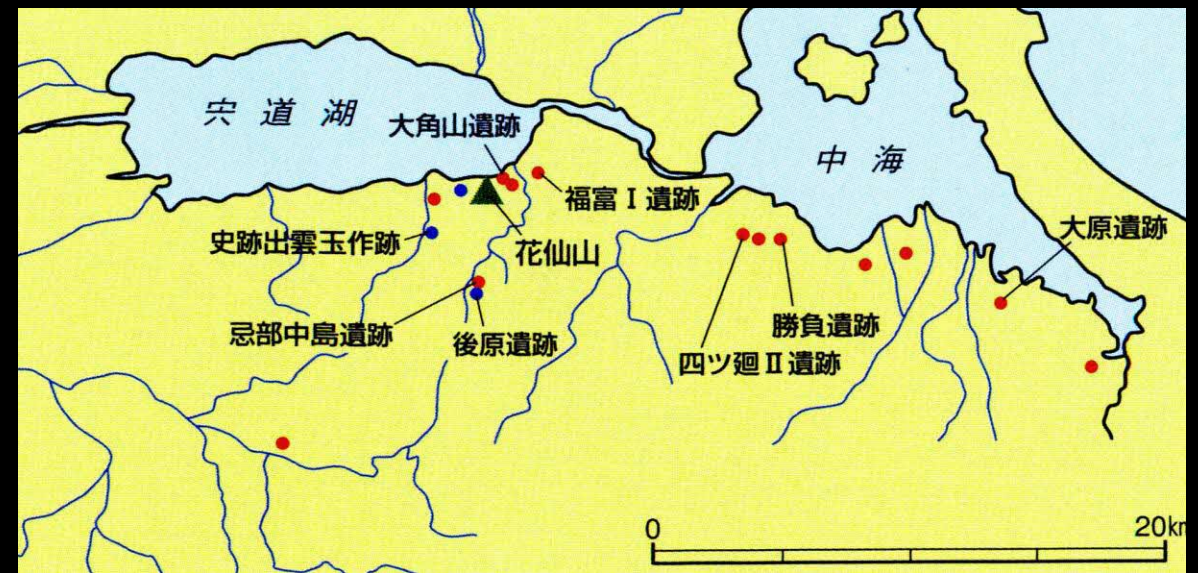
- 玉生産の拠点化

- 花仙山周辺への集約化

- 工房形態の転換

- 複数・短期間
- 単数・長期間

専門的な玉製作集団の編成



中期（上）には玉湯町～安来市域にまで広がっていた玉作遺跡の分布が、後期（下）には花仙山周辺に集約される。

3. 出雲東部社会の諸相

- 手工業生産の掌握

- 須恵器生産：6世紀末に集約化

- 玉生産：6世紀初頭から緩やかに掌握

→ 6世紀末には最高首長による手工業生産の掌握が完成

3. 出雲東部社会の諸相

- 炊飯具にみる領域性
 - 東部ではⅡ類土製支脚
 - 西部ではⅠ類土製支脚
- 両地域で対照的な状況
- 葬送祭式と同様の分布状況

古墳時代に用いられた炊飯具のセット。移動式カマドか土製支脚の上に甕を乗せ、その上に甑を乗せて炊飯を行っていたと考えられている。



土製支脚の拡大図。右側のしっぽがあるかないかによって地域色が認められている。

3. 出雲東部社会の諸相

- 石製紡錘車にみる領域性
 - 東部では土製・石製無文
 - 西部では石製鋸歯文
 - 両地域で対照的な状況
 - 葬送祭式と同様の分布状況



石製紡錘車は出雲においては6世紀後半から出現する祭祀道具。円錐台形を呈し、真ん中には穴があいている。材質は石製や土製のものがある。また、下図のようなギザギザ模様（鋸歯文）をもつものもある。

南講武草田遺跡出土の石製紡錘車

おわりに

- 今日のまとめ

- ①山代二子塚にみる画期

- ・ 卓越した規模、交通の独占、新しい葬送祭式の創出、
(手工業生産の掌握)

- ・ 墳形にみる階層構造
 - ・ 墓域配置
 - ・ 子持壺
 - ・ 石棺式石室

- ②出雲東部の領域

- ・ 墓制と日用具・祭祀道具にみる領域がほぼ一致

おわりに

- 今日のまとめ

- ④西部との関係

- ・これについては後ほど...

- ③倭王権との関係

- ・出雲東部における様々な画期は、倭王権による地域支配や政治的変動の影響を受けて生じたもの
 - ・その一方で、現象面でみると全国的にも異常な地域

→その特殊性の象徴こそが、出雲東部の大型古墳

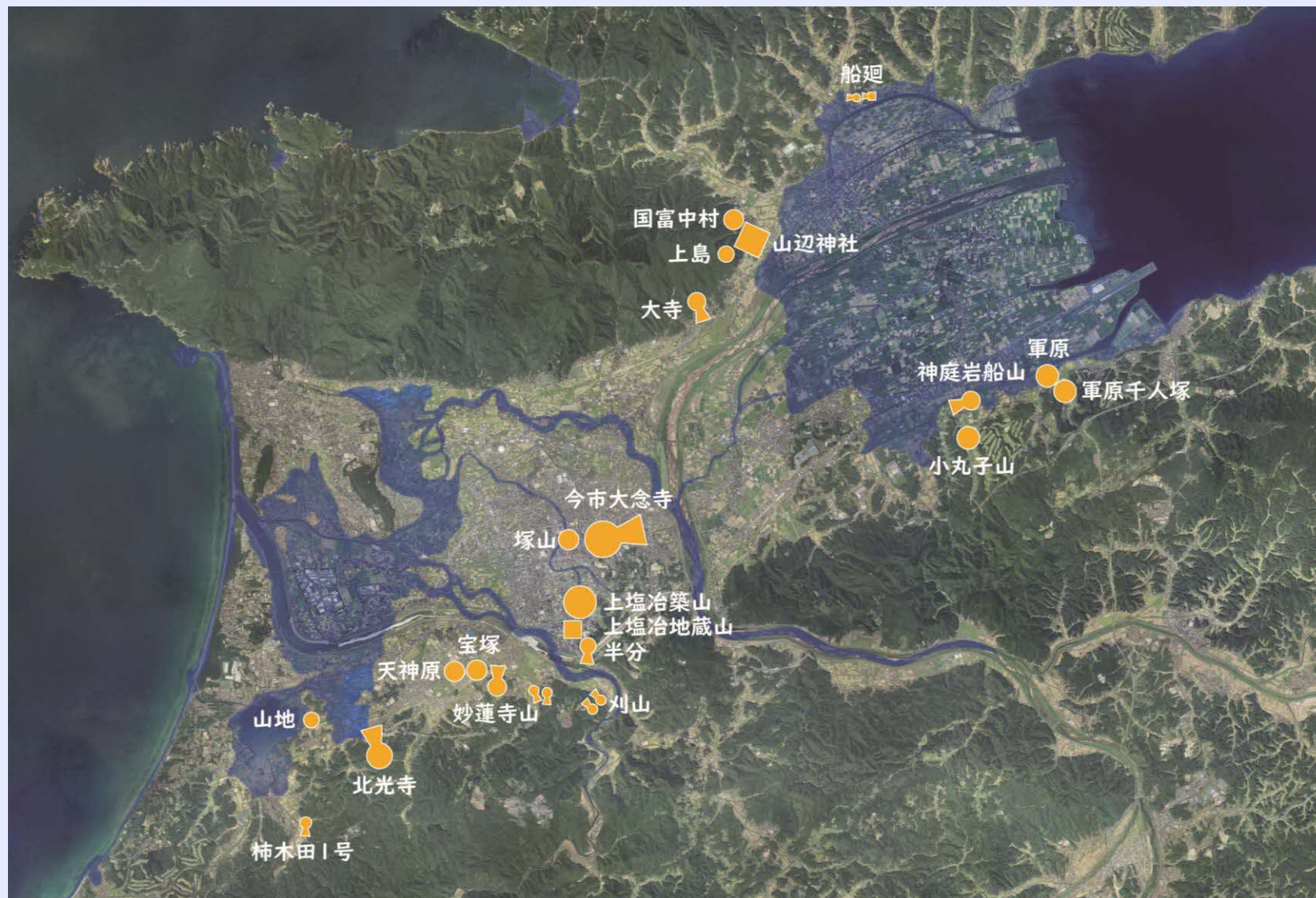
ご清聴ありがとうございました。

島根の歴史文化講座「東西出雲の王」

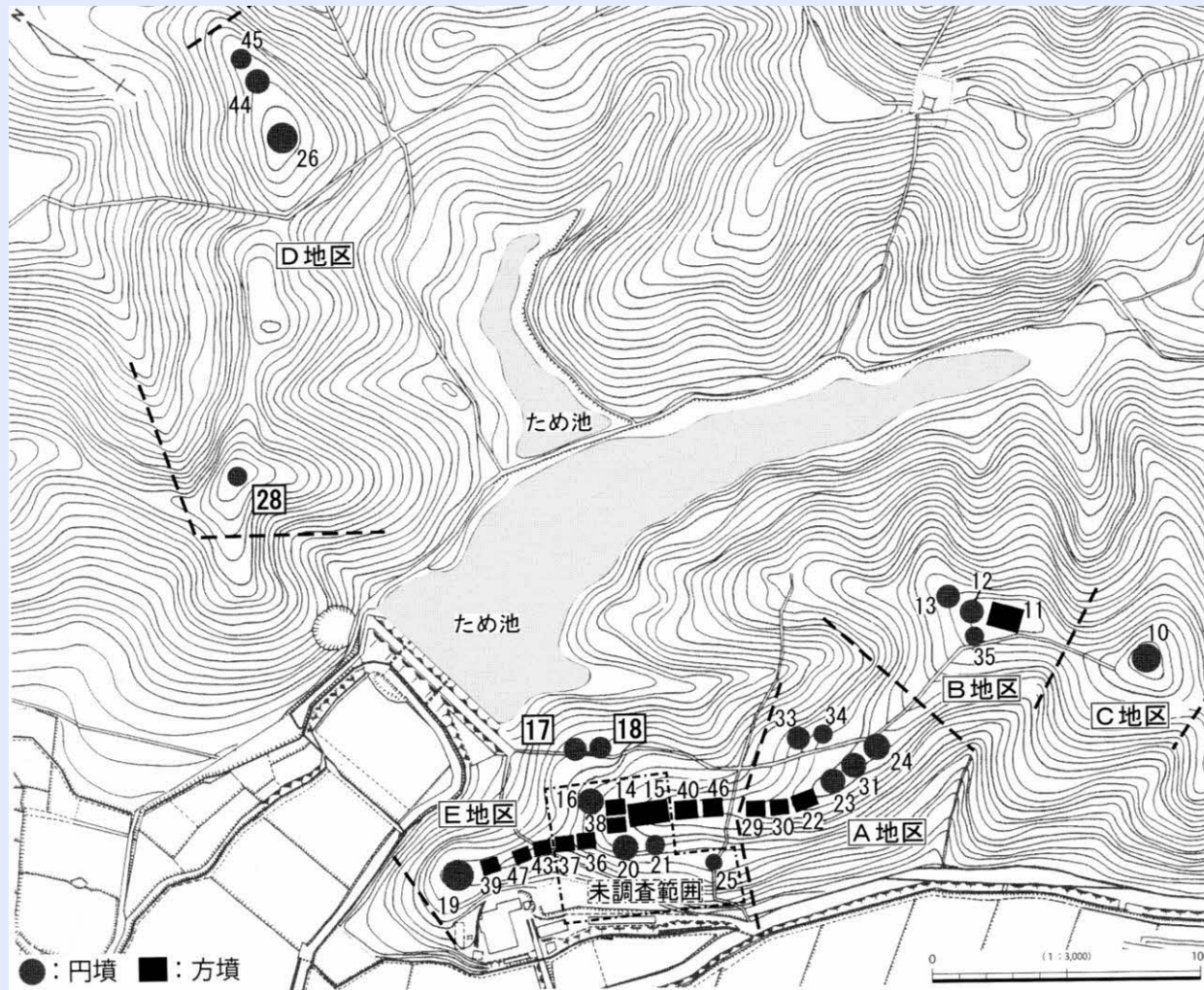
出雲平野の 大型古墳

出雲弥生の森博物館
黒田 祐介

出雲平野の古墳時代概観 ～主要古墳



出雲平野の古墳時代概観 ～群集墳



斐川町 結古墳群 (下江裕貴2022「結古墳群出土の円筒埴輪の型式学的検討」
『出雲弥生の森博物館研究紀要』第10集)

出雲平野の 古墳時代概観

年代	指標古墳	土器編年		出雲平野西部（神門郡）			出雲平野東部（出雲郡）		旧平田市 （横埴郡）
		畿内	出雲	神西湖（滑佐郷）	古志（古志郷）	塩冶（塩冶・日置郷）	国富（美談郷）	荏原（健部郷）	
240	箸墓	布留0	大木 小谷1						
	西殿塚	布留1	小谷2			権現山 19×17			
	板井茶白山								
300	メスリ山		小谷3古	浅瀬II遺跡					
		布留2		浅瀬北					杉谷
	佐紀陵山 渋谷向山		小谷3新			西谷古墳群 7号 23×16	大寺 50		
400	津堂城山	布留3	小谷4	山地 24		21号 10×8			
	仲津山 上石津	布留4 TG232他	大東	柿ノ木田1号 35 関谷東 15		11号 18		軍原 28	
	養田御廟山	TK216		雲部？		18号 9	荒木 26		
500	大仙陵	ON46	夫敷中層	北光寺 64		池田 15 16号 11		軍原千人塚 30 小丸子山 32 白塚 30	船廻1号 22
	土師ニサンヂイ 市野山	TK208	出雲1古					精 10号 11号 12.5×9	
	岡ミサンヂイ	TK23	出雲1中			15号 10.2×？		神庭御船山 48 17号 8	船廻3号 20
600		TK47	出雲1新					28号 18号 7	
	今城塚	MT15							
		TK10	出雲2	天神原 33 妙蓮寺 49	半分 40？ 91？		上島 22		
700	見瀬丸山	TK43	出雲3			上塩冶墓山 三田谷古墳群 46 塚山？ 30？	定開谷		
		TK209	出雲4	放レ山 13 宝塚？ 30？	刈山4号 15 刈山5号 15		中村1号 30		山根垣？
	飛鳥I古								
700	飛鳥I新	出雲5		大塚？ 小塚？	地蔵山 25？		美談神社2号 13	出西小丸 10	佐直美？ 山崎？ 奥里敷？
	飛鳥II	出雲6a				3号	大寺2号 10	高野2号？	上石堂平1号 8
	飛鳥III・IV	出雲6d				10号 10			
700	飛鳥V	出雲7・8							

池淵俊一2015「出雲の古墳編年について」
『前方後方墳と東西出雲の成立に関する研究』
（島根県古代文化センター研究論集第14集）
を基に一部加筆改変

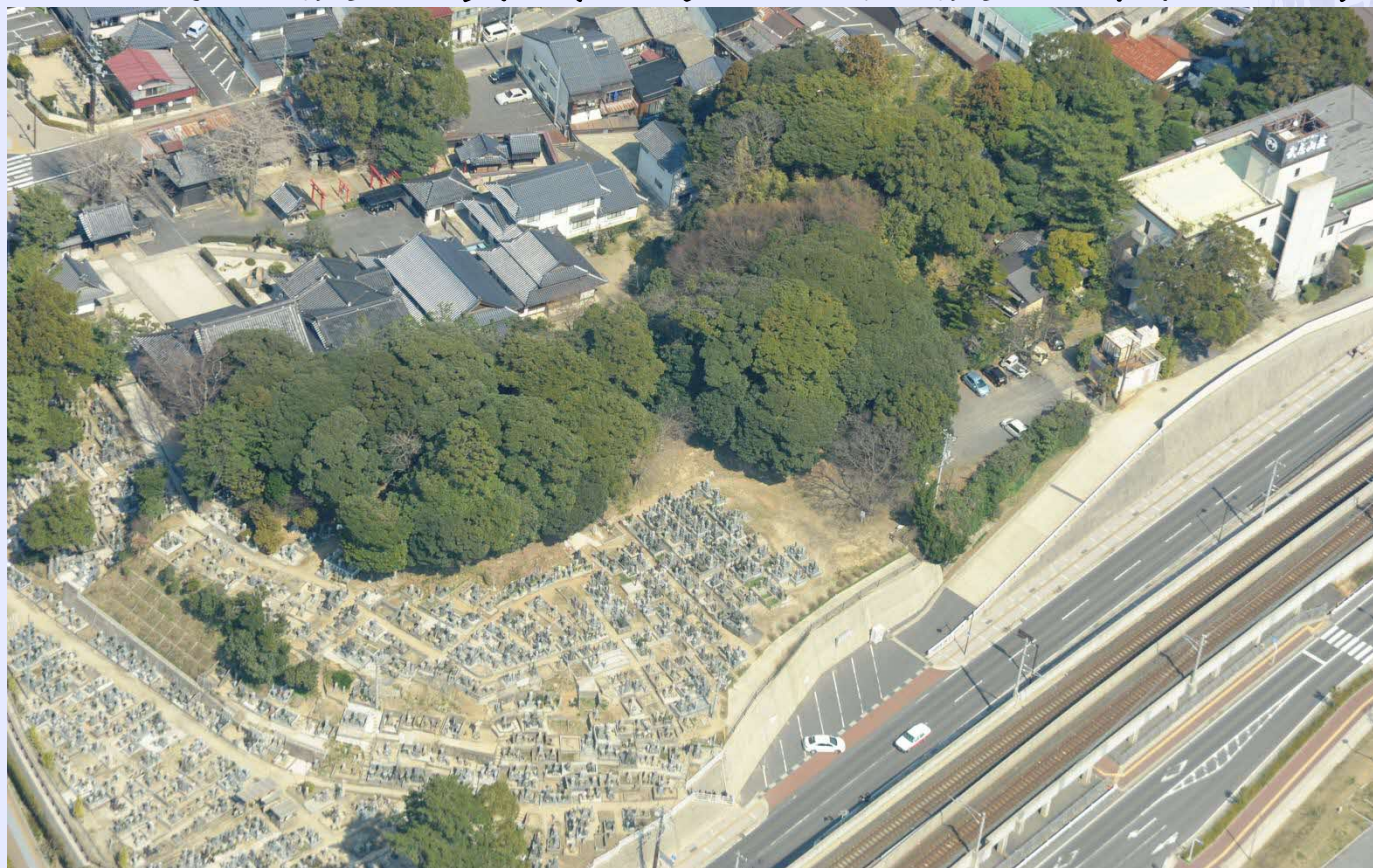
500	市野山	TK208	出雲 1 古						30	22
	岡ミサンザイ	TK23	出雲 1 中						結 11 号	船廻 3 号 20
		TK47	出雲 1 新							
	今城塚	MT15								
		TK10	出雲 2	天神原 ● 33	半分 ● 40 ?			上島 ● 22		
	見瀬丸山	TK43	出雲 3	妙蓮寺 ● 49	● 91 ?			定岡谷		
					上塩冶築山 三田谷古墳群					
	飛鳥 I 古	TK209	出雲 4	放レ山 ● 13 宝塚 ● 30 ?	刈山 4 号 ● 15 刈山 5 号 ● 15 塚山 ● 30 ?	● 46		中村 1 号 ● 30		山根垣 ?
		飛鳥 I 新	出雲 5	大槻 ?	小坂 ?	地藏山 ■ 25 ?		美談神社 2 号 ■ 13	出西小丸 ● 10	佐皿奥 ? 山崎 ?
	飛鳥 II		出雲 6a							上石堂平 1 号 ● 8
			出雲 6bc			3 号 10 号 ■ 10		大寺 2 号 ■ 10	高野 2 号 ?	
600	飛鳥 III・IV		出雲 6d							



出雲平野の大型古墳

① 今市大念寺古墳

- ・ 6世紀後半の築造
- ・ 出雲国最大の前方後円墳（全長91m、後円部径46m）



出雲平野の大型古墳

① 今市大念寺古墳



出雲平野の大型古墳

① 今市大念寺古墳

- ・ 墳丘のつくり方についての知見 ～修理事業から

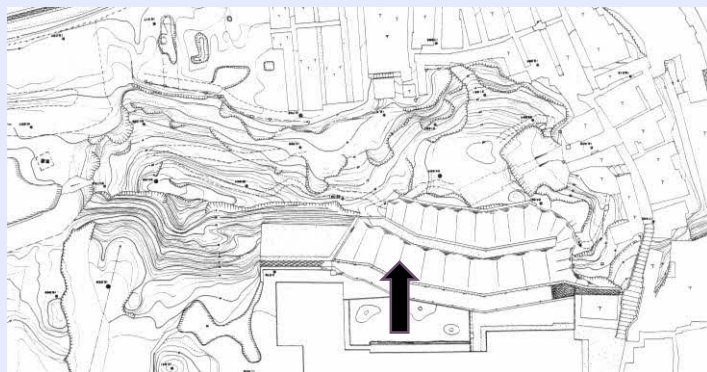


後円部西側斜面（西から）

出雲平野の大型古墳

① 今市大念寺古墳

- ・ 墳丘のつくり方についての知見 ～修理事業から



墳丘北側斜面：後円部（右）と前方部（左）の接続部のようす（北から）

出雲平野の大型古墳

① 今市大念寺古墳

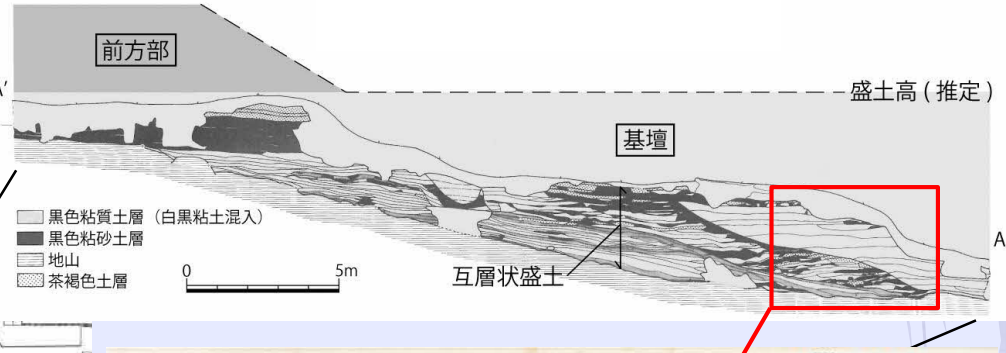
- ・ 古墳のつくり方についての知見 ～墳丘外の盛土層
→ 墳丘を造る前に大規模な造成



前方部北側崖面：墳丘外まで盛土層が広がる様子（北から）

出雲平野の大型古墳

① 今市大念寺古墳

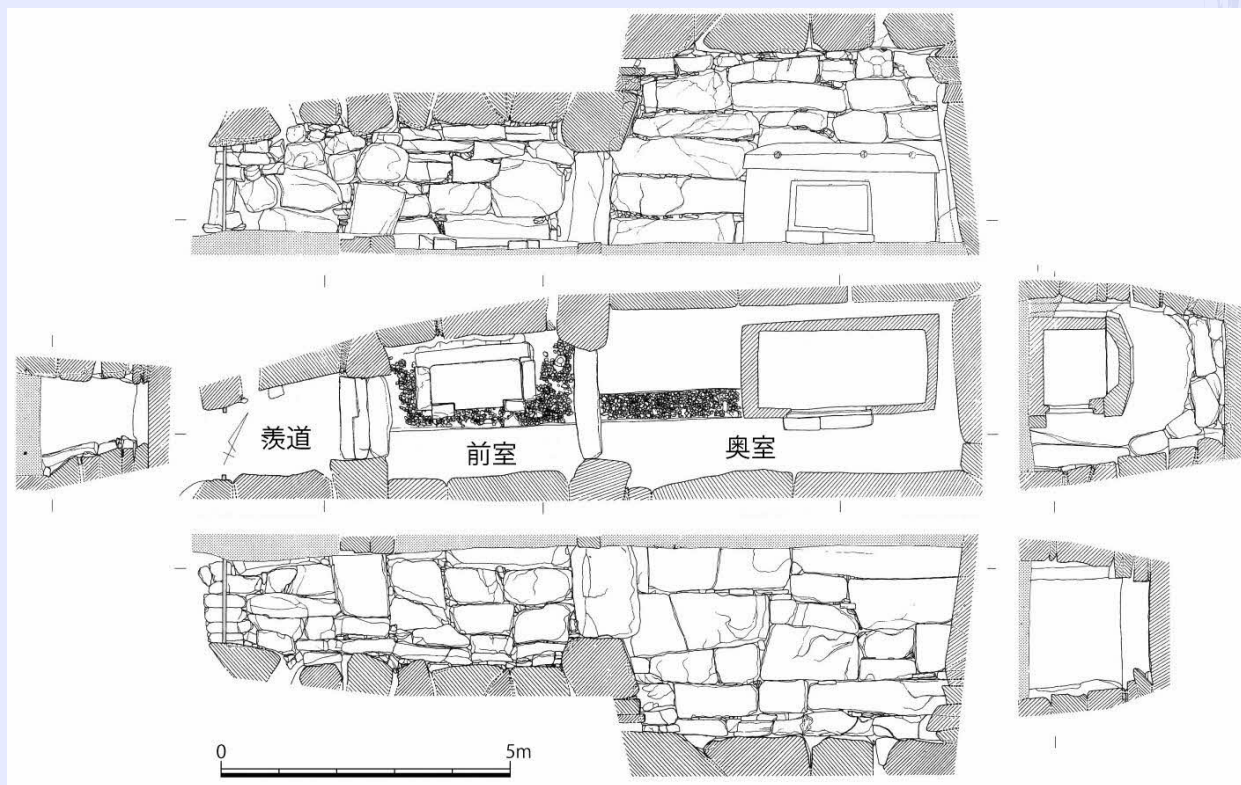


出雲市教委1988『史跡今市大念寺古墳保存修理報告書』
掲載の測量図に加筆

出雲平野の大型古墳

① 今市大念寺古墳

- ・ 主体部は自然石、割石を用いた
全長12.8mの横穴式石室、複室構造



出雲平野の大型古墳

① 今市大念寺古墳



出雲平野の大型古墳

① 今市大念寺古墳

副葬品

- ・ 金銅製飾履・金環
- ・ 鏡
- ・ 捩環頭大刀等の大刀、
鉾、鍬
- ・ 金銅装馬具、馬鐸



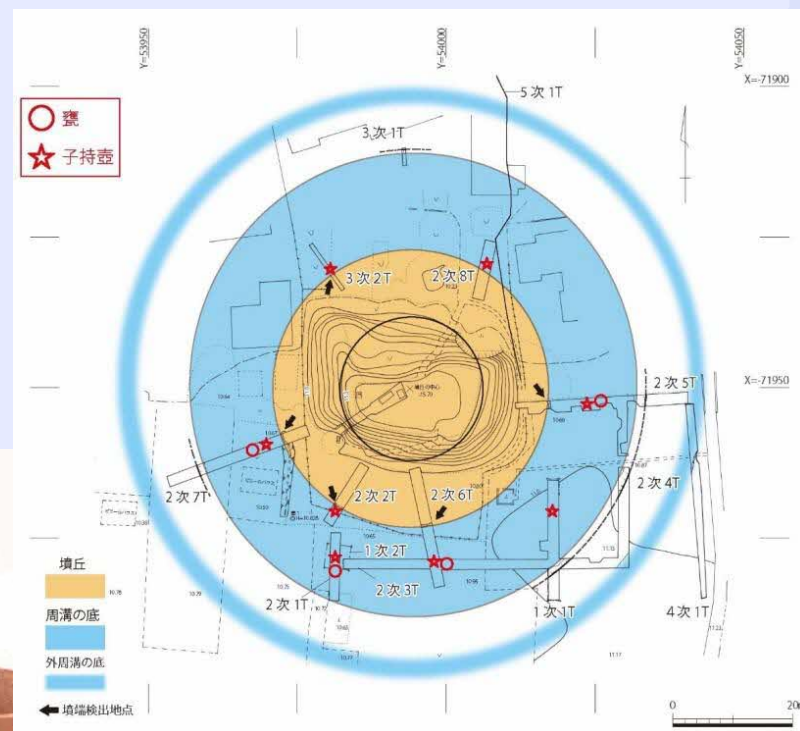
※1826年に発見

※『雲州神門郡今市大念寺掘山而所獲之神器之図』等の記録が残る

出雲平野の大型古墳

② 上塩冶築山古墳

- ・ 6世紀終わりの築造
- ・ 直径46mの円墳
周濠あり



出雲平野の大型古墳

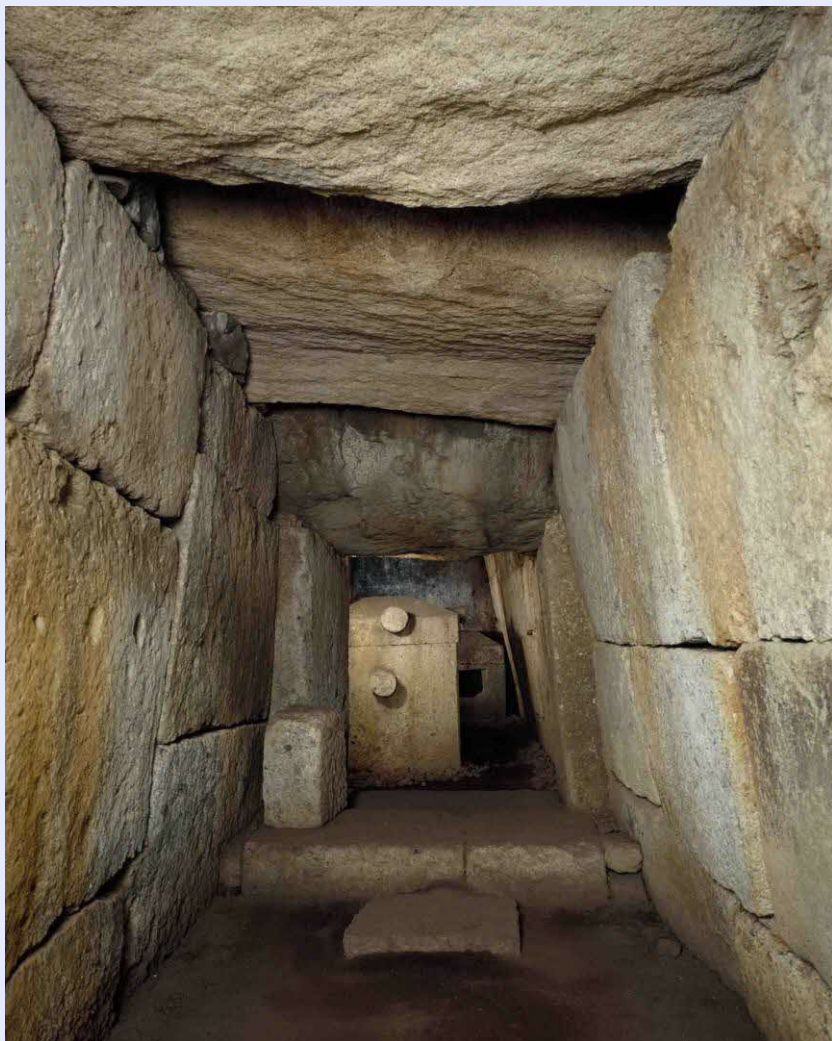
② 上塩冶築山古墳

- ・ 主体部は切石を使った
全長14.6mの横穴式石室



出雲平野の大型古墳

② 上塩冶築山古墳



出雲平野の大型古墳

② 上塩冶築山古墳

- ・ 玄室には大小2つの石棺



出雲平野の大型古墳

② 上塩冶築山古墳

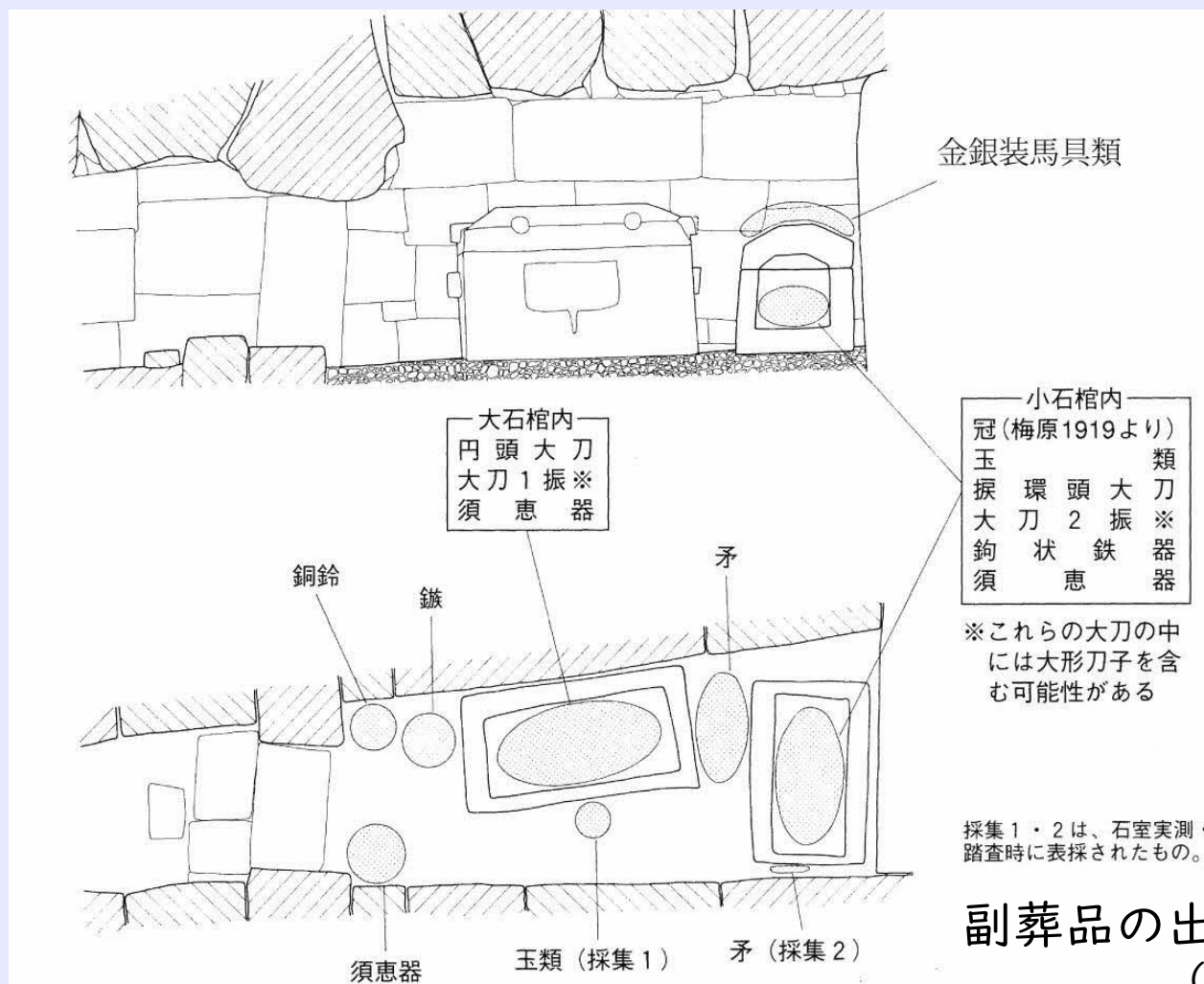
- ・ 石室の開口、副葬品の出土は1887年
- ・ 出土品は、2018年重要文化財に指定
- ・ 2022年から奈良県立橿原考古学研究所と合同で出土品の調査を実施

※JSPS科研費21H04369



出雲平野の大型古墳

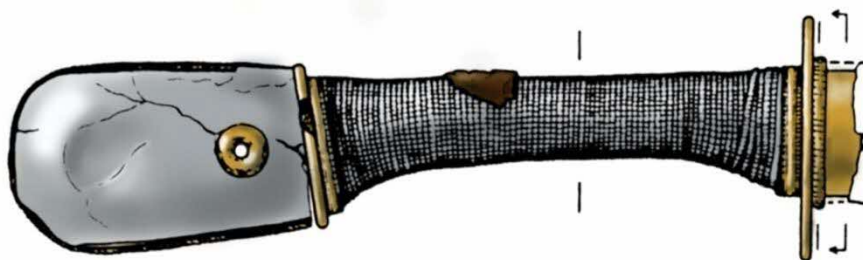
② 上塩冶築山古墳



出雲平野の大型古墳

② 上塩冶築山古墳 - 大石棺

- ・ 金銀装円頭大刀



出雲平野の大型古墳

② 上塩冶築山古墳 - 小石棺

- ・ 金銀装拵環頭大刀



出雲平野の大型古墳

② 上塩冶築山古墳 - 小石棺

- ・ 金銅冠



出雲平野の大型古墳

③ 上塩冶地蔵山古墳

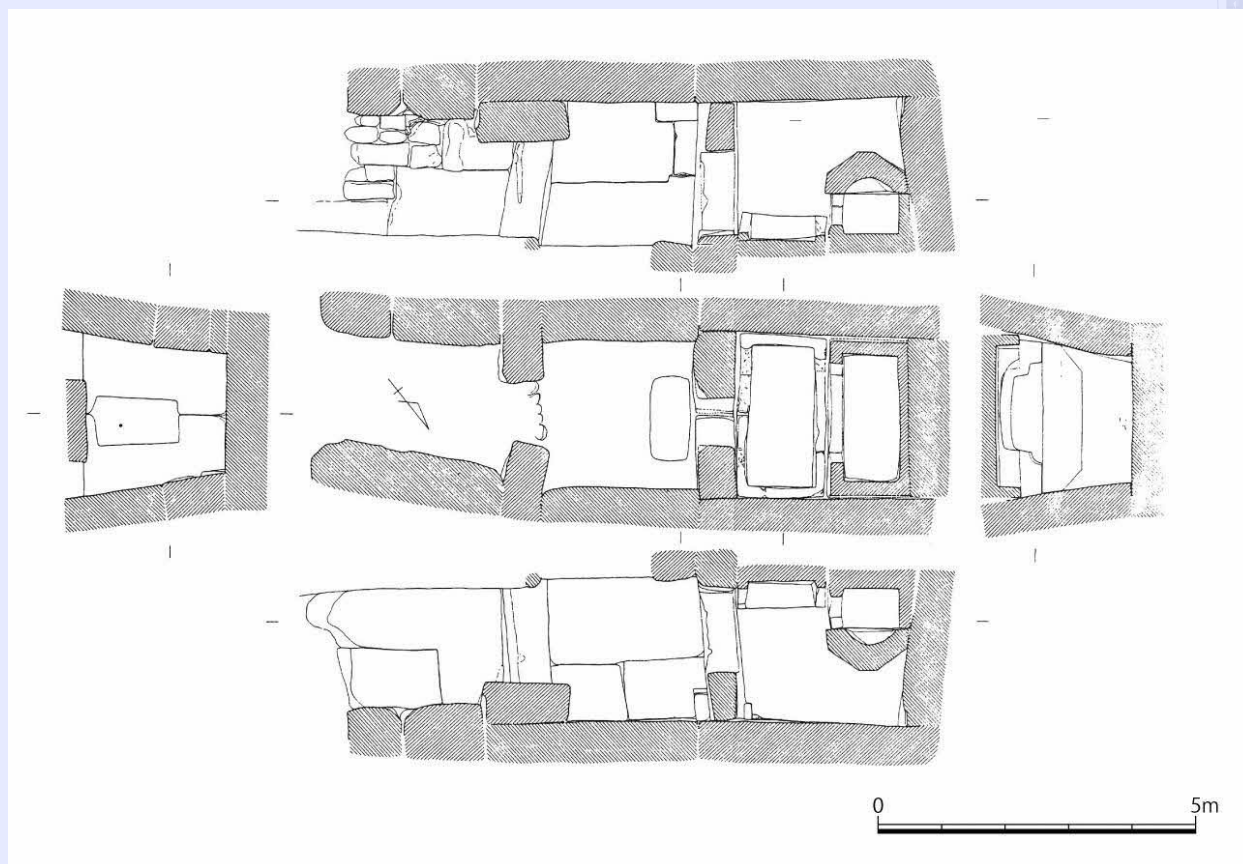
- ・ 7世紀半ばごろの築造
- ・ 墳形、規模不明 ※一辺25m以上の方墳である可能性も



出雲平野の大型古墳

③上塩冶地蔵山古墳

- ・ 主体部は切石を用いた全長9mの横穴式石室
- ・ 複室構造



出雲平野の大型古墳

③ 上塩冶地藏山古墳

・ 刳拔玄門



出雲平野の大型古墳

③ 上塩冶地藏山古墳

・ 奥室



出雲平野の大型古墳

④宝塚古墳

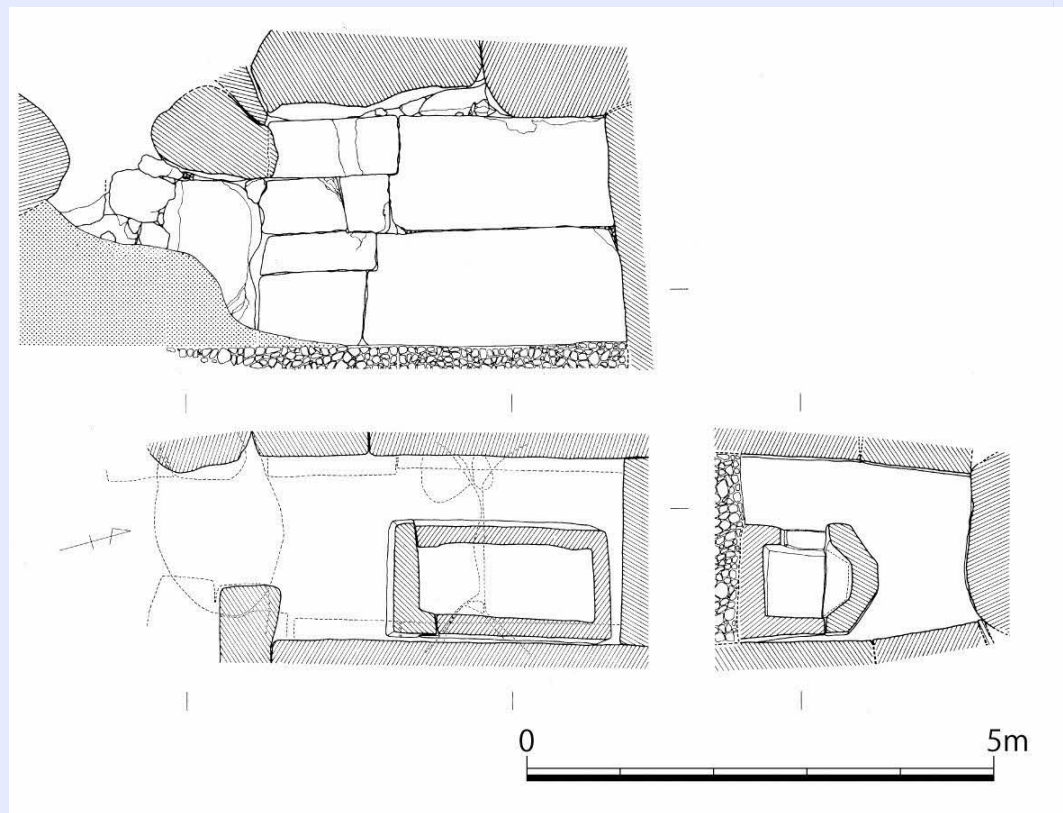
- ・ 7世紀前半ごろの築造
- ・ 墳形、規模不明



出雲平野の大型古墳

④ 宝塚古墳

- ・ 主体部は切石を用いた全長 6 m以上の横穴式石室



出雲平野の大型古墳

④宝塚古墳

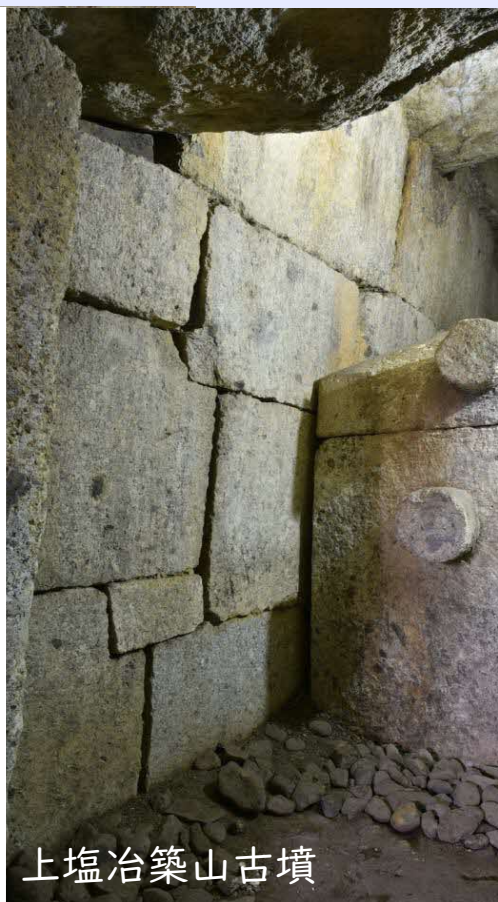


出雲平野の大型古墳 おわりに ～みどころ①

・石室の変化 ～切石化と石材の大型化



今市大念寺古墳



上塩冶築山古墳

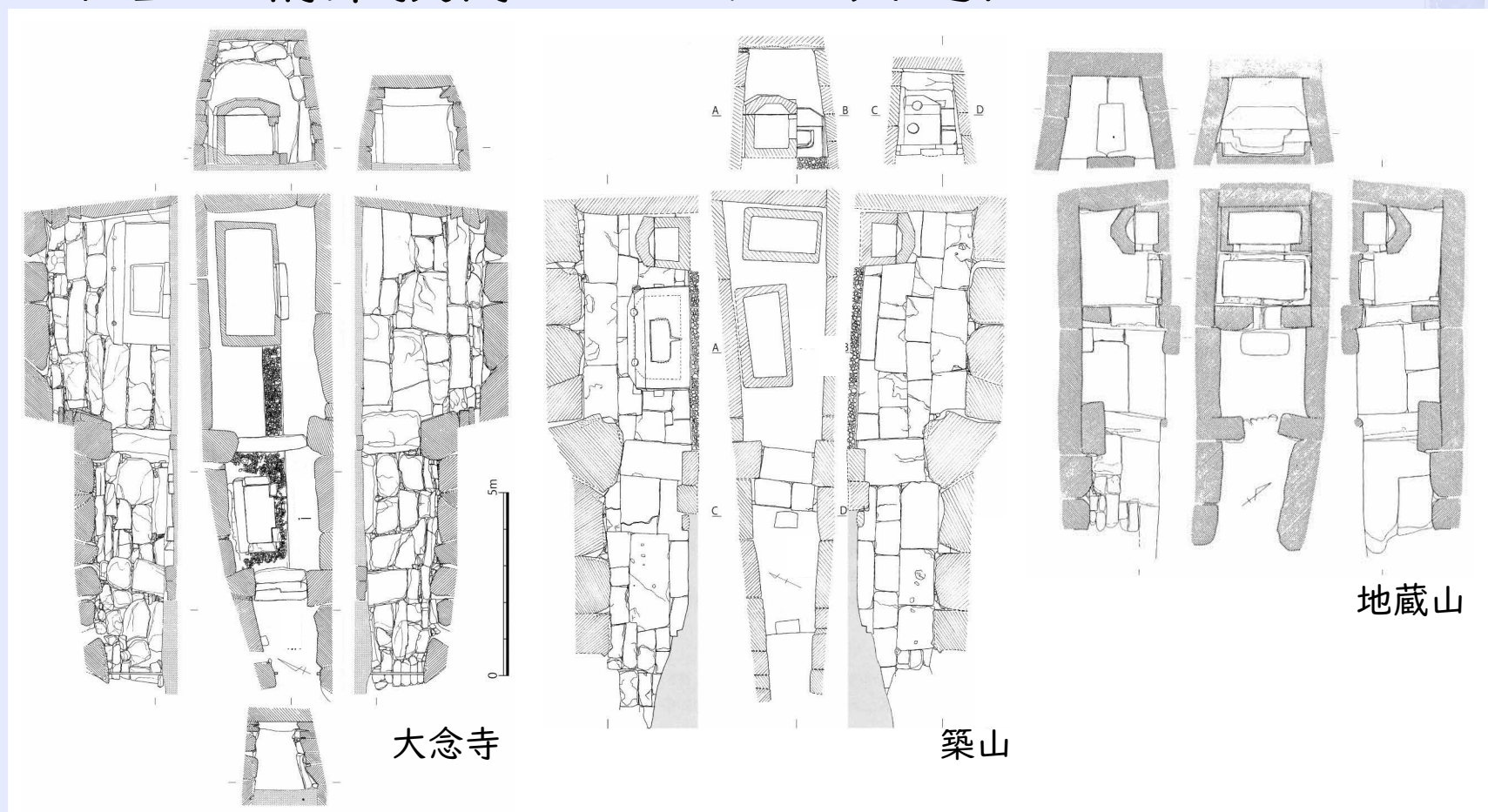


上塩冶地蔵山古墳

出雲平野の大型古墳

おわりに ～みどころ②

- ・ 石室の構築技術にみられる共通性



出雲平野の大型古墳

おわりに ～みどころ③

- ・ 石棺や石室の石材にのこる加工痕



上塩冶築山古墳側壁

出雲市市制施行 20 周年記念
出雲弥生の森博物館 2024 年 秋季企画展



出雲平野の 後期古墳

2024(令和6)年

9/28(土) ⇒ 12/28(土)

関連講演会

11/9(土) 岡林孝作氏 (奈良県立橿原考古学研究所)
「ひつぎ」からみた古墳時代の出雲

11/30(土) 廣瀬 覚氏 (奈良文化財研究所)
古墳時代から飛鳥時代へ
—畿内と出雲を比較する—

いずれも14時～16時、定員80名、受講無料
申込方法：電話・FAX・メールでお申し込みください。



 **出雲弥生の森博物館**
IZUMO YAYOINOMORI MUSEUM

〒693-0011 島根県出雲市大津町 2760 番地
TEL0853-25-1841 / FAX0853-21-6617

<https://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori>
yayoi@city.izumo.shimane.jp

●開館時間：9時から17時（入館16時30分まで）
●休館日：毎週火曜日 ●観覧無料 主催：出雲市



博物館 HP

ギャラリートーク

●10/12日
●11/17日
●12/15日

いずれも
10時～

担当学芸員が解説します。

(12/15は手品演説あります)